

URAMI ～怨み～ (2000)

BRUISER

メディア 映画

ジャンル サスペンス ホラー

製作国 アメリカ

時間 100分

初公開日 2001/10/20

公開情報 コムストック

【解説】

ゾンビ映画の巨匠ジョージ・A・ロメロ監督の「ダーク・ハーフ」以来8年ぶりの新作。妻に、上司に、友人に踏みにじられ続けた男の怨みが、ある日ついに爆発する。怨みを増幅させていく主人公には、実に6年ものあいだ映画製作のチャンスを与えられなかった監督の思いが強く込められている。

まじめで気のいい男ヘンリーは雑誌『BRUISER(ならず者)』の編集者。郊外に念願の家を買ったものの、おかげで毎日涙ぐましい節約の日々。それでも、浪費家の妻にはなじられ続け、会社ではワンマンで横柄な編集長からはバカにされ、あげく大学時代の友人でヘンリーの投資コンサルタントをしている証券マンのジミーには大事な運用資金を騙し取られる始末。ある日、編集長主催のパーティで妻と編集長の浮気を知ってしまったヘンリーは、ひとり家で白い仮面を手に、誰からも存在を認められない自分はこの白い仮面と同じ“顔のない男”だと思い詰める。翌朝目覚めたヘンリーの顔にはその白い仮面が貼りつき、剥がれなくなってしまった。“顔のない男”になったヘンリーにもう怖いものなどなくなっていた……。

【クレジット】

監督	ジョージ・A・ロメロ	George A. Romero	
製作	ベン・バレンホルツ	Ben Barenholtz	
	ピーター・グルンウォルド	Peter Grunwald	
製作総指揮	アレン・ショア	Allen Shore	
脚本	ジョージ・A・ロメロ	George A. Romero	
撮影	アダム・スウィカ	Adam Swica	
音楽	ドナルド・ルビンスタイン	Donald Rubinstein	
出演	ジェイソン・フレミング	Jason Flemyng	ヘンリー
	ピーター・ストーメア	Peter Stormare	ミロ
	レスリー・ホープ	Leslie Hope	ロージー
	ニーナ・ガービラス		ジャニーン
	アンドリュー・ターベット	Andrew Tarbet	ジミー
	トム・アトキンス	Tom Atkins	トニー